

# 知ってる？ 深谷の英語教育

## English education in Fukaya

2020年には、小学校5・6年生で『外国語（英語）』が『教科』となり、小学校3・4年生で『外国語活動』が『必修』となります。今、子どもたちを取り巻く英語教育は大きな変化を迎えています。今月は、深谷市で進めている英語教育と新しい取り組みについて特集します。

### 深谷市の早期英語教育

深谷市では、全国に先駆けて平成21年度から小学校3年生以上を対象に、早期英語教育として『外国語活動』に取り組んできました。その後、平成23年度には、全国の小学校5年生以上で必修となりました。

「How is the weather now?」（今の天気はどうですか？）とALT（外国語指導助手）が尋ねると、「It's sunny!」（晴れです。）と児童が答えるような、英会話が市内の小学校でも普通の光景となっています。

### 5・6年生で正式な『教科』に

そして、2020年度からは『英語』の教育に関して、さらに大きく変わります。

小学校5・6年生では外国語（英語）について『読む・書く・聞く・話す』を学ぶ、正式な『教科』となります。また、小学校3・4年生では外国語活動が『必修』となります。

中学校では全て英語で授業を行うことが基本となります。

### 授業での英語教育

そこで、教育委員会では、平成24年度から、小学校3年生から中学校卒業までの7年間の一貫した切れ目のない英語教育で、子どもたちの学ぶ意欲を育ててきました。

また、平成26年度からは、『小学校外国語活動アドバイザー』を配置し、これを活用した小・中学校の先生への指導を行い、英語を『教える側』である先生の指導体制を整えてきました。

そして、今年度からは、地域人材（EAT）を活用した授業の補助なども行っています。

### 『英語』を学ぶことの意義

市では、『立志と忠恕の深谷教育』を愛し、夢をもち志高く生きることを基本理念として教育を行っています。国際化が進む中で、『英語』の重要性も高くなります。

深谷で『英語』を学んだことが子どもたちの『夢』の可能性を広げ、その『夢』がかなうように、さまざまな取り組みで支援していきます。

## 深谷独自の支援策！英語を学ぶ意欲が向上！

### 『英検』検定料を市が全額補助！

平成29年度の市内の中学校3年生の『英検検定3級』の取得率は、22・5パーセントでした。昨年度までは、希望者が受験をしており、取得率は20パーセント前後で推移しています。

国の『第2期教育振興基本計画』では、グローバル人材育成のために、『中学校卒業段階で英検3級以上を取得した中学生の割合を50パーセント以上』を目標にしています。

そこで、教育委員会では、多くの生徒が『英検検定3級』に合格できるように取り組みを始めました。今年度から中学校3年生が英検検定を受ける際の検定料を1回分、市が全額補助します。

そして、地域人材を活用し、公民館で2次試験対策講座を行い、子どもたちが学ぶ意欲を持ち続けられるようサポートします。

このように、市では学ぼうとする子どもたちが、より成長できるように、学習環境づくりに努めます。

### EATを活用した授業

小学校の外国語の授業は外国人講師のALT（外国語指導助手）と担任が協力して行っています。今後、地域の英語が堪能な人材によるさらなる支援を行います。小学校では、今年度から担任、ALTそして新たに『EAT』を活用した授業を行っています。

※EATとは、今年からスタートした『英語指導アシスタントティーチャー』のことです。担任と協力し、授業の補助をする日本人の講師です。

### 世界が広がるきっかけに

英語教育が大きく変わろうとする中、深谷市の『外国語アドバイザー』としてこれまで以上に小・中学校の先生を手助けしていきます。

深谷での早期英語教育が始まったばかりのころ、子どもたちはALTが学校にただただ緊張していましたが、今では子どもたちから声をかけるなど『英語』が学校に浸透しています。

英語を学び、わかるようになる子どもたちの知識や興味を持つ世界も広がってきます。このため、小学生から英語に親しみを育てるよう、普段の授業でも生活に密着した表現を用いるなど、これまでの成果を生かした授業となるようアドバイスをしていきます。

## 他にはこんな取り組みも！

### こころざし深谷国際塾

JICA（国際協力機構）で青年海外協力隊参加者からの講話を聞き、実際に桶を使った水くみをするなどの体験を通して、世界中のできごとを学びます。その後、体験を通して感じたことを、自分の英語で発表します。



▲「JICA 地球ひろば」で講話を聞く様子

### 英語王国

ALTの母国料理をつくる『料理体験』や、『レクリエーション』など1日『英語漬け』になり、さまざまな体験活動を通して英語を学びます。



▲ALTと料理をする子どもたち



深谷市外国語アドバイザー  
小林富治さん（写真左）、篠崎正明さん

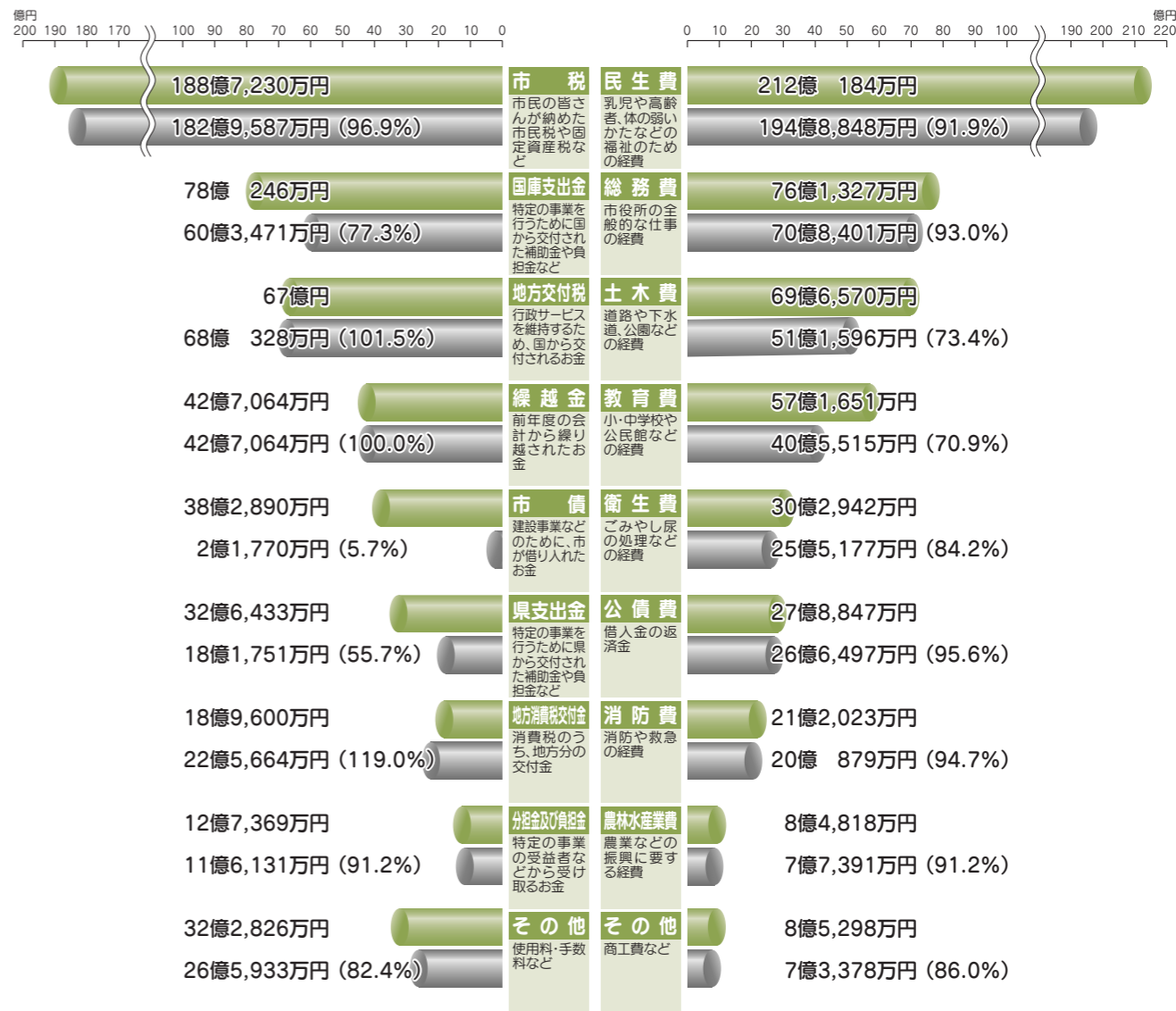
# 深谷市の財政状況

平成29年度（平成30年3月31日現在）の市の財政状況をお知らせします

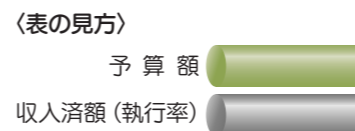
市では、まちづくりのために、市民の皆さんに納めていただいた税金や市債(市の借入金)などを財源とし、効率的な財政運営に努めています。どのような事業にどのくらいお金が使われたかという『市の家計簿』ともいべき財政状況を年2回に分けてお知らせしています。

今回は、平成29年度(平成30年3月31日現在)の財政状況をお知らせします。

## 歳入 ← 一般会計 → 歳出



歳入予算額・511億3,658万円  
収入済額・435億1,698万円  
執行率・85.1%



※数値は表示金額未満を四捨五入しているため、合計額と一致しない場合があります。  
※予算額は、平成28年度の繰越分を含みます。

予算額に対して、収入済額と支出済額のそれぞれに差がありますが、これは出納整理期間の収入・支出が加算されていないためです。決算の数値は、出納整理期間終了後の数値になります。

(注)出納整理期間…年度内に終了した取引について、4月1日～5月31日までに現金を収入・支出した場合は、年度内に収入・支出したものと出納を処理することができます。この期間を出納整理期間といいます。

歳出予算額・511億3,658万円  
支出済額・444億7,683万円  
執行率・87.0%



※数値は表示金額未満を四捨五入しているため、合計額と一致しない場合があります。

### 特別会計

区分	予算額	収入済額	支出済額
国民健康保険	184億4,975万円	163億9,606万円	178億7,311万円
後期高齢者医療	25億1,878万円	24億8,643万円	24億 168万円
国済寺土地区画整理事業	6億2,712万円	5億6,739万円	5億2,775万円
岡中央土地区画整理事業	8,124万円	8,123万円	2,337万円

### 市有財産

市が保有する公有財産のうち、土地は3,206,590㎡、建物は390,798㎡です。庁舎、学校、公園などの行政財産と、それ以外の普通財産とに分かれます。

区分	土地		建物	
	面積	㎡	面積	㎡
行政財産	2,915,350	369,553	-	-
普通財産	291,240	21,245	-	-
計	3,206,590	390,798	-	-
物権(地上権)	-	-	495	-
有価証券(テレビ埼玉ほか株券)	-	-	4,355	-
出資による権利(埼玉県信用保証協会出金など)	-	-	98億5,169	-
債権	-	-	2億6,686	-
基金(行政振興基金など)	-	-	230億2,447	-

平成29年度の市政においては、子どもの健やかな成長と保護者の経済的負担の軽減を図るため、こども医療費無料化の対象年齢の拡大、幼稚園での3歳児の受け入れや長時間預かりなどを実施する『ふかやこども園』の実践など、市民ニーズに応えるようサービスの向上に努めてまいりました。

本市の財政状況は、歳入においては、合併市町村における地方交付税の優遇措置の段階的な縮減などにより、自主財源の確保が喫緊の課題となっております。また歳出においては、福祉のための経費である扶助費が年々増加していることや、公共施設の老朽化対策、便利で機能的な都市整備を進める必要があることから支出の増加が見込まれます。

平成30年度においては、先に制定しました『第2次深谷市総合計画』に掲げる『元気と笑顔の生産地 ふかや』という将来都市像の実現を目指し、深谷の輝かしい未来へ力強く歩みを進めてまいります。

深谷市長 小島 進

### 企業会計

水道事業 (税込み)

区分	予算額	収入済額	支出済額
収益的収支	収入 30億2,759万円	25億7,382万円	支出 28億8,789万円
資本的収支	収入 5億8,580万円	3億6,159万円	支出 18億6,885万円

下水道事業 (税込み)

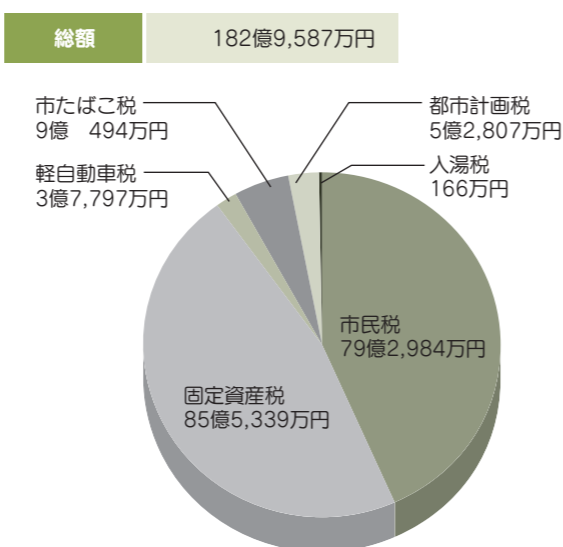
区分	予算額	収入済額	支出済額
収益的収支	収入 34億7,447万円	24億2,281万円	支出 34億9,425万円
資本的収支	収入 25億2,721万円	15億1,372万円	支出 33億9,034万円

### 市債(借入金)

会計名	残高
一般会計	313億1,058万円
土地区画整理事業特別会計	17億6,488万円
国済寺特別会計	16億9,785万円
岡中央特別会計	6,702万円
水道事業会計	104億2,823万円
下水道事業会計	197億8,950万円
合計	632億9,319万円

市民1人当たり換算すると **439,319円**  
1世帯当たり換算すると **1,072,747円**  
(人口 144,071人 世帯数 59,001世帯 平成30年3月31日現在)

### 市税の内訳



※数値は表示金額未満を四捨五入しているため、合計額と一致しない場合があります。